

平成23年度

# 小・中学生フォーラム

## in 牛込第二中学校



▲ 3年A組の皆さん



▲ 3年B組の皆さん

7月12日に、牛込第二中学校（高田憲一校長、喜久井町20）で小・中学生フォーラムが開催され、3年生（2クラス・58名）が中山区長と意見を交わした。メインテーマを「男女共同参画」とし、事前に男女共同参画社会に関する意識アンケートや、「ワーク・ライフ・バランス」についての学習を行って、子どもたち自身が男女共同参画推進への意識を高めながら当日のフォーラムを迎えた。

まず初めに、男女共同参画に関する意識アンケートの調査結果が披露された。男女共同参画社会を実現すべき理由として「能力のある人が男女関係なく仕事を進めていくため」や「平等に生活し、よりよい日本を作るため」といった回答が示され、その実現のための対策として「男女共同参画という考え方の浸透」や「女性の活躍分野を増やす」ことが必要であるといった意見が出された。このアンケート調査の結果からは、子どもたちが男女共同参画社会について前向きに捉え、推進を望んでいることが明らかになった。

続いて、中山区長から、1975年の「国連・国際婦人年」以降、日本において男女平等参画社会が進展してきた歴史を紹介するとともに、「男女共同参画社会基本法」及び「男女雇用機会均等法」の施行などによって、男女共同参画推進への様々な取り組みが進んでいる現状を伝えた。

また、次世代育成支援対策推進法に基づいて、男女平等に育児休業取得環境が整備されており、区でも男性職員の育児休業取得を積極的に勧奨していることなどを語った。

更に、子どもたちから「男女平等に家事分担すべき」「区長も育児を夫婦で分担したのですか？」「社内保育所の整備が更に進むとよい」といった意見や質問があがり、中山区長が自らの経験や企業の取組みの現状を通して、更なる男女共同参画の推進が必要であることを述べた。

最後に、中山区長は、「男女共同参画社会の実現のためには、一人ひとりの意識を高めることが大切。皆さんも日々の生活の中で男女共同参画の推進に関心を持ち、関連するニュースに耳を傾けるなど、更に意識を高めていってください。」と、子どもたちへ期待を込めてメッセージを送った。